

2015年 秋学期 ヨーロッパ文明学科開講科目 授業案内

【専任の先生方】

●ゼミ → 登録は各教員のゼミを選択

1年次：ヨーロッパ文明入門セミナー2

3年次：ヨーロッパ文明セミナー2

4年次：卒業論文2

再履修科目

●平野葉一

ゼミのみ担当

●中川久嗣

ヨーロッパ文明特殊講義C
(火3)

フランス中世前期の教会建築と彫刻装飾について10～12世紀のキリスト教教会建築の歴史をたどる。ゴシックにも触れる。英語文献も読む(フランス語文献を含む)。

●金沢百枝

ヨーロッパ芸術論B
(火金4)

ヨーロッパの美術の歴史とその技法 フレスコ、モザイク、テンペラ、羊皮紙、油彩など絵画技法を知ることで理解を深める。制作実習・発表あり。

ヨーロッパ文明特殊講義D
(火2)

聖人伝・詩編挿絵、中世の死後世界など文献を読みながら、図像学の基礎も学びます。

●中澤達哉

東ヨーロッパ地域研究B
(火4)

国家・宗教・文化の3つの側面から、東中欧のダイナミズムを考察します。毎回コメントペーパー/グループワーク・3回発表あり/学期末テスト

ヨーロッパ統合論
(火金2)

ヨーロッパ史における分裂と統合の諸契機とその実態を、古代～中世～近世～近代～現代と時系列で分析します。毎回コメントペーパー/学期末テスト

●原基晶

ヨーロッパの都市と文化
(火金3)

イタリア主要都市の歴史と発展を見ていきます。特に都市計画に注目します。参加者には数回の小報告等を求めます。

ヨーロッパ文芸論
(火金2)

今年度はダンテとマキャヴェッリの関係を中心に考察し、彼らの作品が古典として現代の世界に与えた影響を見ていきます。参加者には数回の小報告等を求める予定です

●柳原伸洋

西ヨーロッパ地域研究B
(火4)

研究文献コレクションをグループワークで作成する。略して「研これ」。卒業論文などで、食べ物や工業品などの製品史、スポーツそして戦争などを扱う人向け。必要なのは、研究を楽しもうとする気持ち。

ヨーロッパ現代文化論
(火金3)

ヨーロッパの製品・文化についての全員報告・全員記録の参加型講義。プレゼン能力および書いて考える力をつける。出席重視。

●河島思朗

ギリシア・ローマの神話
(火金2)

古代の神話と文化、現代への影響を学ぶ。神話学の観点から考察します。毎週コメントペーパー / 学期末テスト

地中海地域研究B
(火4)

古代文明を歴史・建築・文化・文学などの多様な観点から学ぶ。毎週コメントペーパー / 複数回発表 / 学期末レポート

【非常勤の先生方、他】

非常勤の先生方

杉山晃太郎		
ヨーロッパ科学思想史 (火金1)	古代ギリシア・ローマの技術観。「人間のものの見方」がどのように誕生し、展開していったかという点に注目し、その思想的、哲学的な面を中心に概説する。	
原典と思索 (金3)	プラトンの『ソクラテスの弁明』を読む。毎回担当者を決めて、担当箇所について発表してもらい、テキストの内容や発表についてディスカッションを行なう。	
ラテン語入門 2 (金2)	ラテン語の基礎を学ぶ 入門の教科書(第11課から)を使って文法を学ぶ。ラテン語の名言を原文で読む。	
徳井淑子		
ヨーロッパ民俗文化論 (月木2)	ヨーロッパ服飾史をテーマとし、古代ギリシャから現代に至る各時代の服飾の造形性と表現性について講義する。	
ヨーロッパ比較文化論B (月木3)	ヨーロッパ服飾文化論。服飾史研究の誕生とこれまでの展開を示した上で、先行研究の批評および一次資料の分析を試みる。	
浅見 聡		
ヨーロッパ近代哲学 (月木1)	主にドイツにおける近代と哲学を、文明論的に考える。ほぼ毎回課題を提示し、コメントを求める。	
浅川英理子		
ギリシア・ローマの伝統B (月木2)	ギリシア悲劇を読む。『アンティゴネー』『メーデシア』の二作品を読む。各自発表あり。	
川井繁巳		
西ヨーロッパ地域研究B (木2)	ヨーロッパ社会に深く根差した、このオペラという芸術形式を「疑似体験学習」的に学ぶ。	
イタリア語とイタリア文化2 (月木3)	「イタリア語とイタリア文化2」は、「イタリア語とイタリア文化1」で学んだ知識を基に、複雑な場面にも対応できるような実力を養成する。	
永本哲也		
ヨーロッパの形成 (月木3)	古代ギリシア、古代ローマ、古代末期の地中海世界、中世の西欧の歴史を概観し、ヨーロッパが形成される過程を追う。	
キリスト教文化B (月木4)	個々の学生の問題関心に従い、キリスト教文化に関する様々なテーマを掘り下げる。報告やレポートなどの課題中心。	
井野上真弓		
ヨーロッパ比較文化論A (水土2)	ヨーロッパと日本の二つの文化・文明について、神話・宗教・巡礼といったテーマから比較文化論的考察を進める。毎回、課題、および感想・意見を小プリントに記していただく。	
余村聡二郎		
ヨーロッパ芸術論A (月木1)	ヨーロッパの民族的な音楽 ウィンナ・ワルツやロマの音楽等クラシックとは一味違った音楽世界を体験。毎回プリントを読み、沢山音楽を聴きます。	
ヨーロッパ比較文化論B (月木2)	「カトリック文化圏とプロテスタント文化圏」という二元性を踏まえ、様々な視点からイタリア・フランスとドイツを比較し、それぞれの音楽観、世界観を考察するのがこの授業の到達目標です。	
百瀬亮司		
東ヨーロッパ地域研究B (金3)	東ヨーロッパが抱える政治・経済・民族等の問題を考察することで、ヨーロッパの現在を知ることを目的としています。	
平野陽一		
ギリシア語入門2 (金3)	古典ギリシア語で記述された文献を直接読解するために必要となる基礎的な文法事項を修得することを主たる目的としています	
深谷志寿		
ハンガリー語入門 (火金3)	単に文法の修得だけを目標にするのではなく、日本語との比較等を経て、ハンガリー語のものの考え方、ものの見方などを体得する。	
金原保夫		
ブルガリア語入門 (火金3)	ブルガリア語の初級を発音や文法に重点を置いて学び、それを使って正しく表現できることを目標とします。	